ふみびと

第２７７号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

人生に訪れる幾多（いくた）のご縁

約三万人の中で

普段何気なく会っていた友人たち。なかなか気軽に集まることもできない昨今ですが、それでも繋がりが途切れてしまわないのは、数ある出会いの中でも少し特別な存在であるからではないかと感じています。

友人の中には、幼稚園で出会い、高校で再会して、また卒業して10年後に再び共通の友人を介してたまたま三度目の出会いをすることになった人も。それから今でも交流が続いていることを思うと、人との出会いやご縁というものが不思議なものであるように感じるものです。

単なる偶然の出会いかもしれないけれど、それが二度、三度と続いたことは単なる偶然以上の何かがあるような。

生活している中で出会う人は、ほとんどが一生に一度しか会わない人。

二度会う人も限られている中で、何年もの時間を隔ててまた出会い、交流が続くというのは奇跡的な確率なのかもしれません。ちなみに一人の人が人生で何らかの接点を持つ人の数は、一説に三万人ほどと言われているそうです。

世界六十億人のうちのたった三万人。そのうちの特に今交流がある数人から数十人のうちの一人となるとやはり特別な「ご縁」を感じざるを得ないように思います。

文通も、数多くの文通村の村人の中から選び、または選ばれた一人。お互いが文通を始めていなければ果たすことの出来なかった出会い。いくつかの偶然と二人の行動で生まれた「ご縁」はきっと奇跡的な繋がりのような気がします。

「出会えてよかった」そう思える出会いがたくさん生まれることを願っています。

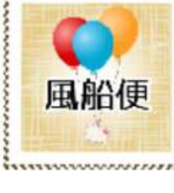
三万人のうちの一人。それが皆さんの中で特に心に残る出会いであることを。

風にゆられて誰かに届け！

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局宛の返信用封筒に同封下さい。今までにない交流の始まりです。



夏への準備

梅雨の晴れ間には汗ばむ季節になってきた。本格的な夏は、もうすぐそこだ。うだるような暑さと格闘する日々がやってくる。まとわりつく汗にうんざりし、「早く夏が終わってほしい」と願うこともあるだろう。近年の夏は、本当に笑い事にならないくらいの暑さだから。だけど、もし、夏がなくなってしまったら…。それは、きっと寂しくなるにちがいない。朝の瑞々しい空気や、日暮れに聴こえてくる虫の音など、夏ならではの気配や景色は、何度経験しても味わい深いものだ。もし、夏がなくなってしまったら、「暑い」と文句を言うことさえも、どこか楽しかったのに、と切ない気持ちになるに決まっている。だから、もう暑い日々がやってくることに覚悟を決める。そして、少しでも快適に過ごせるように、冷感素材のマスクでも用意して、きたるべき夏に備えたい。

次回発送日

7月の発送日は各回とも通常通り（15日、31日）の予定です。送りたいお手紙がある場合には、それぞれ2日前（13日または29日）までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投函してください。

機能追加

村人検索内での「紹介文変更日付」を追加しました。マイページからログインすると、自分で自由に自己紹介文を変更できますが、その自己紹介文を変更した日付を村人検索結果に表示されるようにしました。